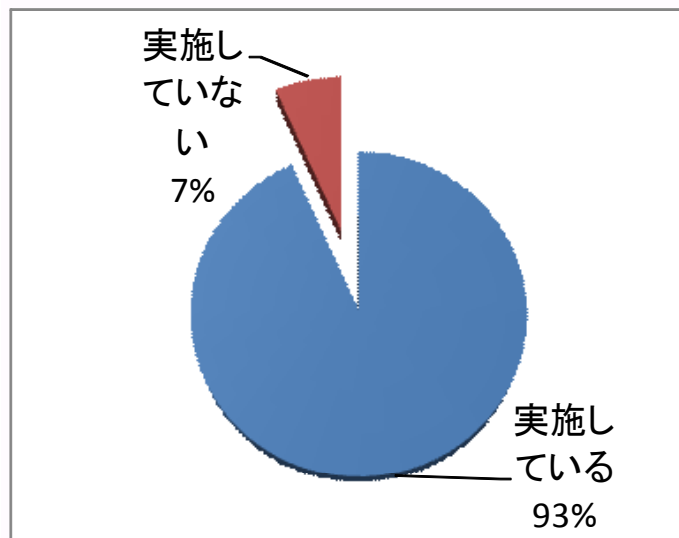


1 博物館対象アンケート調査

45館からの回答、回収率は87%

問1 貴館は、学校と連携した事業（学校の団体での展示・見学利用、学校へ出向いての授業等、教職員への研修等）を実施していますか。該当する番号に○をつけてください。

n=45



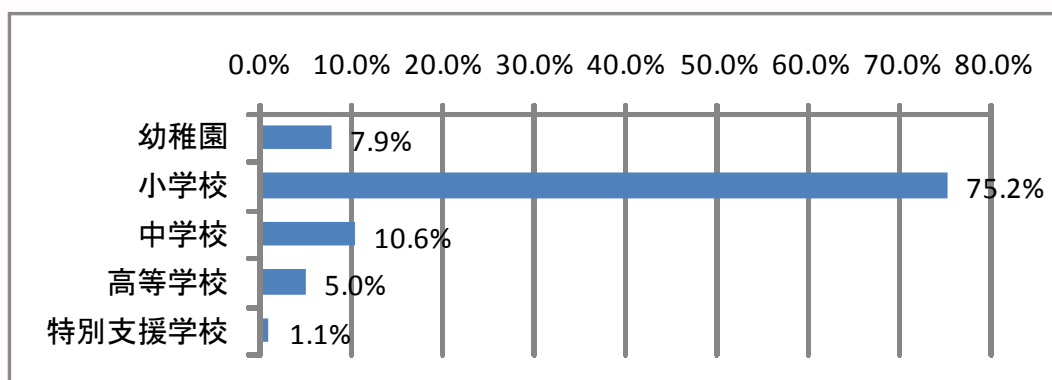
回答いただいた45館中、42館から学校との連携事業を「実施している」との回答を得た。93%が事業を実施しているということになる。

問2 いいえの理由は何のようなものですか

- ・学校の時間的都合を考えると、実施しにくいところがある。小学校などから不定期の見学などは受け入れているが、それ以外特別には実施していない。
- ・対応できる人員がない等の理由であった。

問3 学校との連携に関して、貴館を利用している学校の校種別利用状況は、概ねどの程度ですか。（合計が10割となるよう0～10で記入願います。）

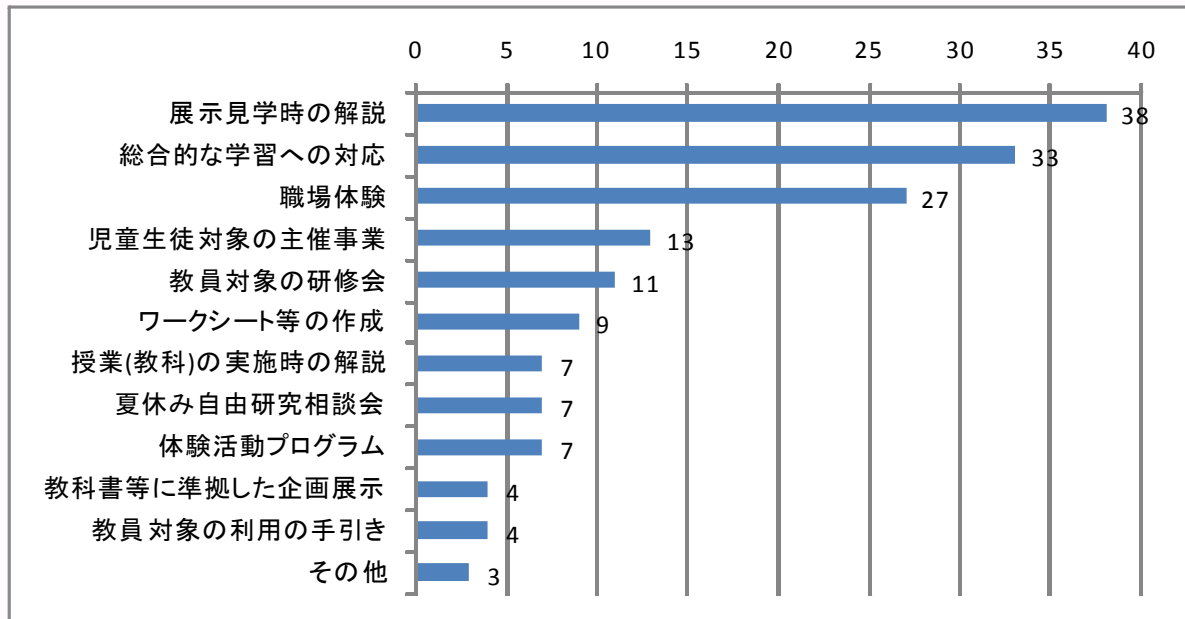
n=42



学校種別利用状況では、「小学校」の利用が75%と圧倒的に多い。次いで「中学校」の利用10.6%となっている。

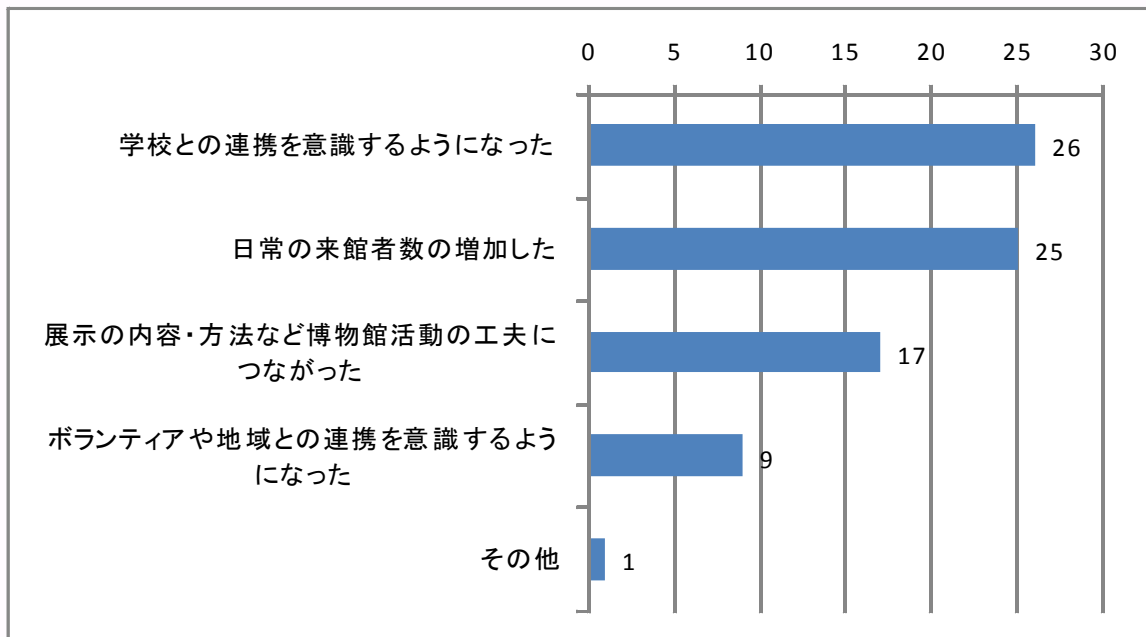
問4 学校（児童生徒・教員）の貴館利用についておたずねします。

① 実施していること（記号）に○をつけてください。（複数回答可） n=42



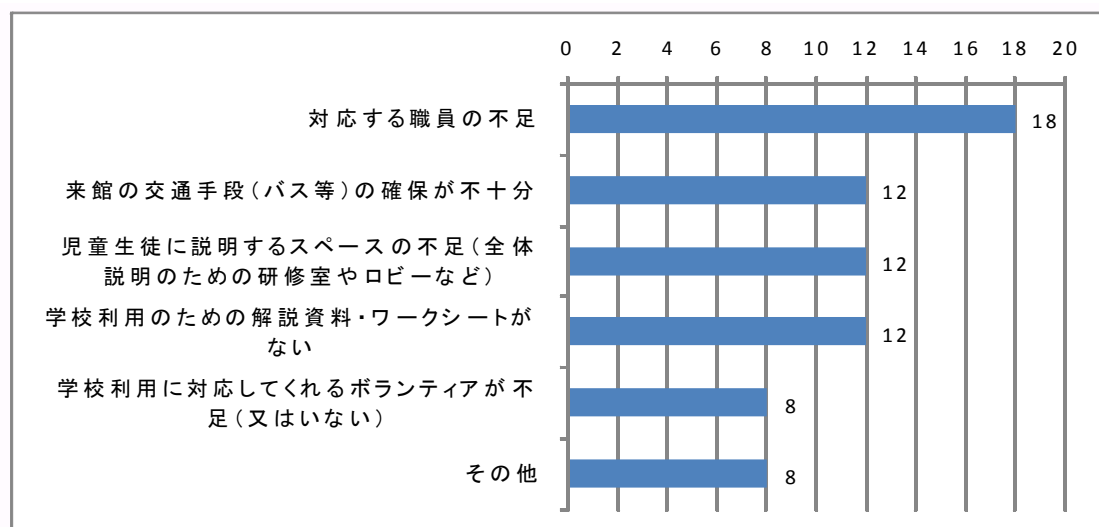
館内での利用では、展示見学時の解説が38館（90 %）と最も多く、総合的な学習の時間での利用への対応が33館（79%）、職場体験の受け入れが27館（64%）となっている。

② 学校（児童生徒・教員）が貴館を利用する成果はどのようなことですか。該当する記号に○をつけてください。（複数回答可） n=42



学校との連携の意識の向上が26校（62%）、来館者数の増加につながる25館（60%）となっている。

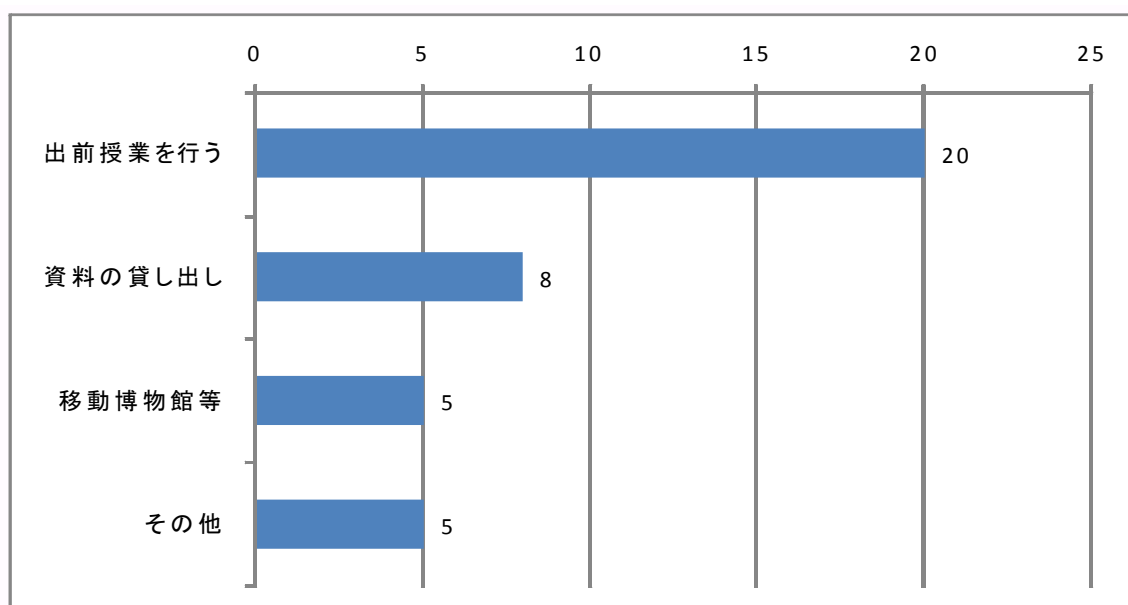
- ③ 学校（児童生徒・教員）の貴館利用にともなう課題はどのようなことですか。
該当する記号に○をつけてください。（複数回答可） n=42



「職員の不足」が18館（43%）、次いで、「交通手段の確保」「説明するスペースの不足」「解説資料・ワークシートがない」は、それぞれ12館（29%）があげられる。

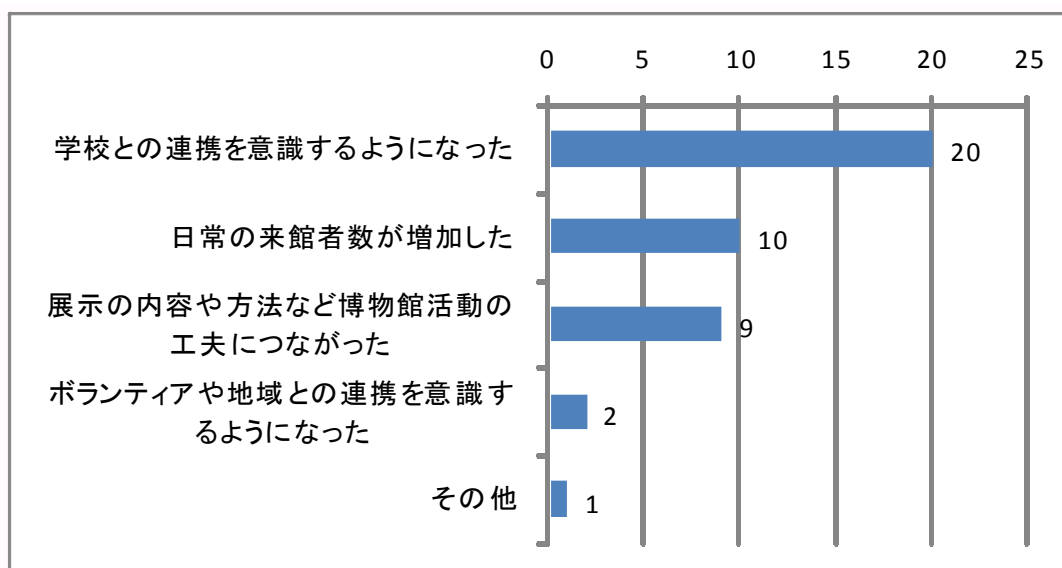
問5 学校へ出向く活動（館外活動）についておたずねします。

- ① 実施している事業の記号に○をつけてください。（複数回答可） n=42



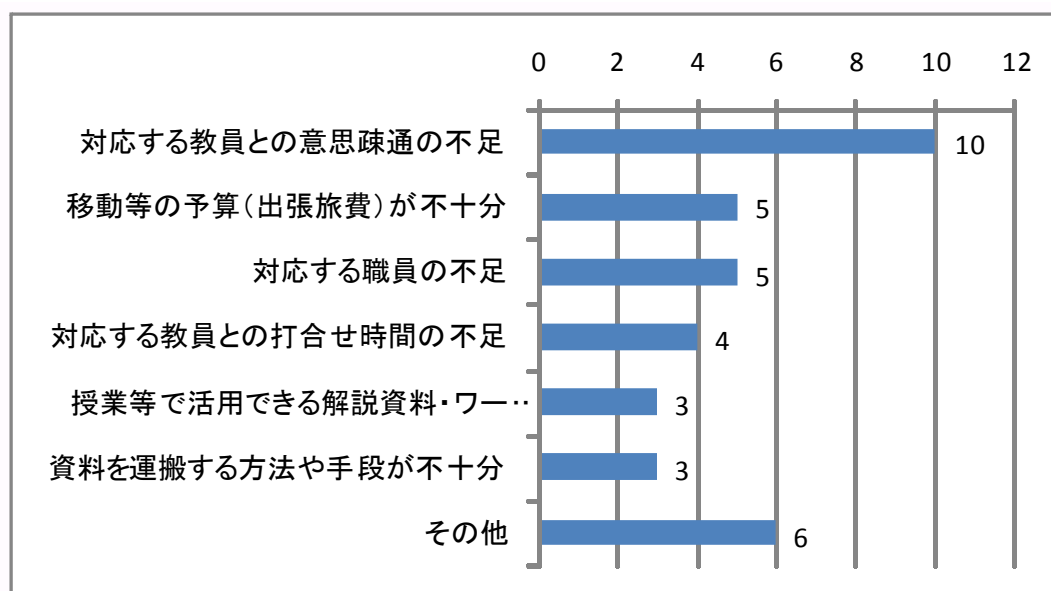
館外での事業については、学芸員等の博物館職員が学校へ出かけ授業を行う、「出前授業」が20館（48%）、「資料の貸し出し」8館（19%）となっている。しかし、それぞれ20館、8館の回答となっており、まだまだ学校へ出向いての活動については、課題があるように思われる。

② 学校へ出向く活動（館外活動）事業を実施することによる成果はどのようなことですか。該当する記号に○をつけてください。（複数回答可） n=42



「学校との連携の意識の向上」が20校（48%）、「来館者数の増加につながる」10館（24%）となっている。

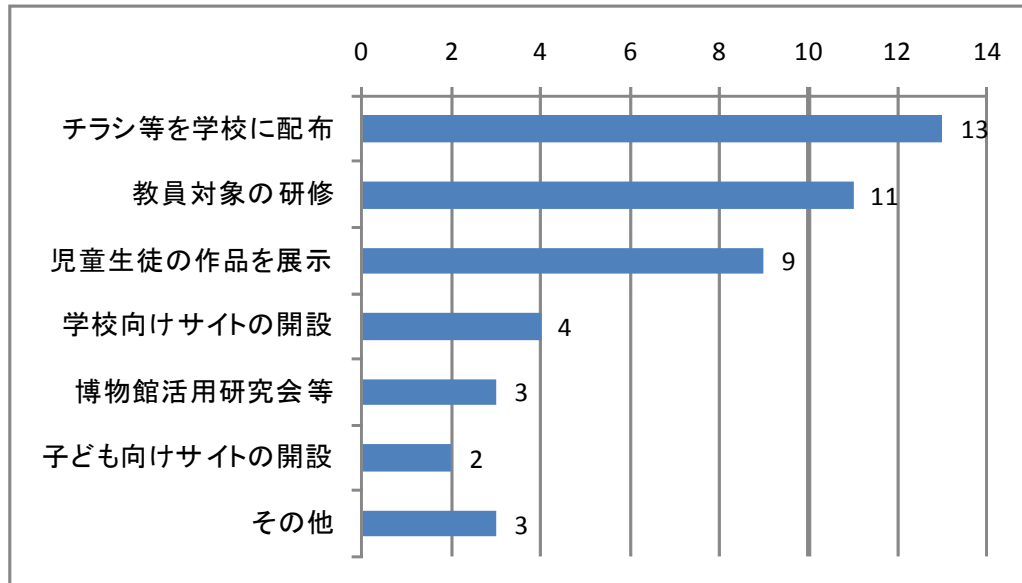
③ 学校へ出向く活動（館外活動）事業の実施にともなう課題はどのようなことですか。該当する記号に○をつけてください。（複数回答可） n=42



「教員との意思疎通の不足」が10館（24%）、次いで、「移動等の予算の確保」「職員の不足」が、それぞれ5館（12%）となっている。

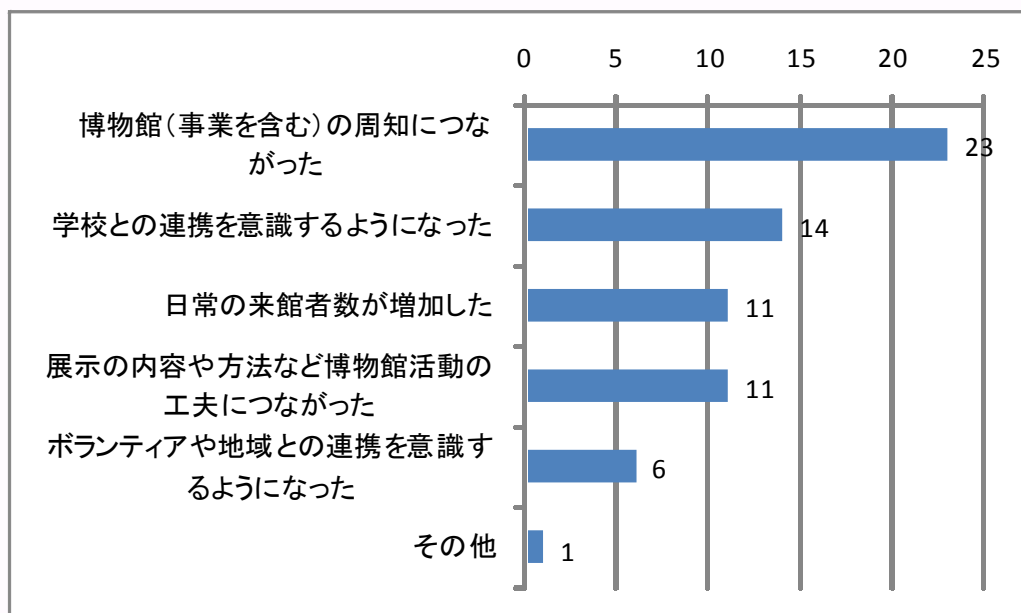
問6 研修・広報・教育普及等についておたずねします。

① 実施している事業の記号に○をつけてください。(複数回答可) n=42



研修・広報・教育普及活動では、「各種講座や企画展等のチラシを学校へ配布している」、「教員を対象とした研修会の実施」、「児童生徒の作品を博物館で展示」の順の回答となっている。回答数が13館（31%）、11館（26%）、9館（21%）であり、実施している館は少ない。

② 研修・広報・教育普及等を実施することによる成果はどのようなことですか。該当する記号に○をつけてください。(複数回答可) n=42

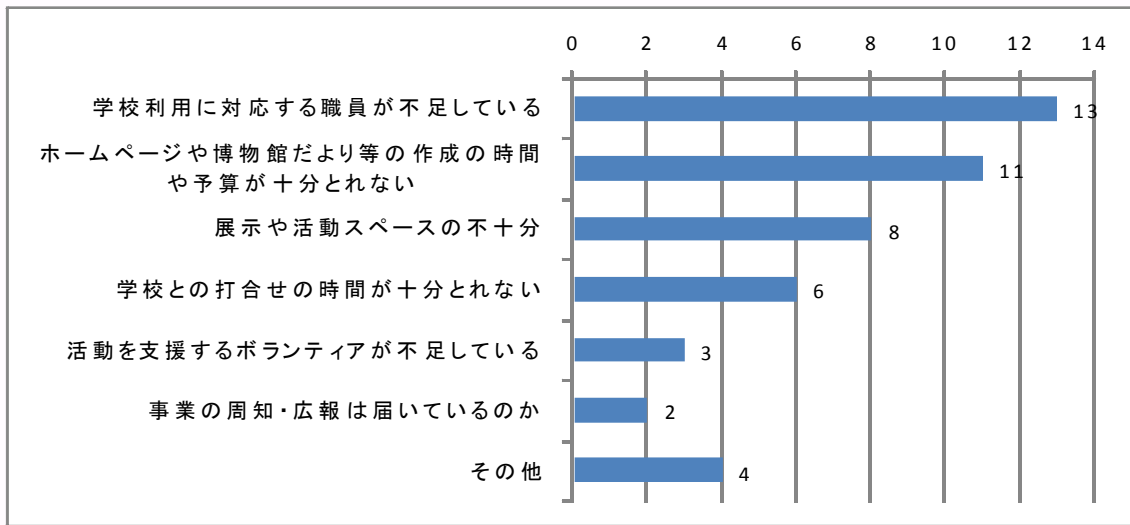


「博物館の周知につながった」が23館（55%）と最も多い回答である。

③ 研修・広報・教育普及等にもなう課題はどのようなことですか。

該当する記号に○をつけてください。(複数回答可)

n=42

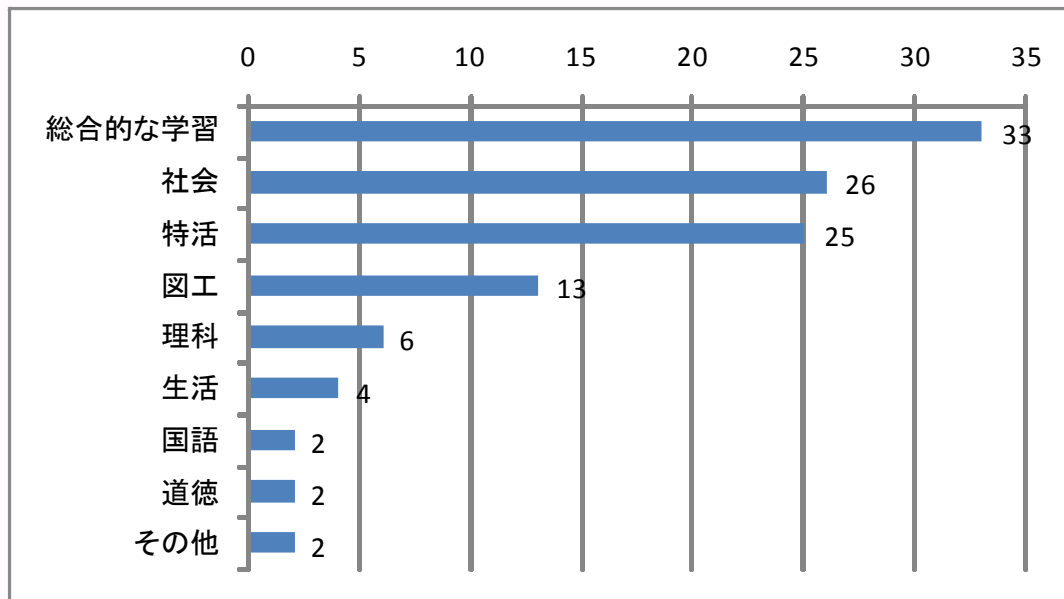


「学校利用に対応する職員の不足」13館（31%）、「ホームページや博物館だよりの作成の時間や予算がとれない」が11館（26%）となっている。

問7 問4～6の回答の中での特徴的な取組事例について具体的に御紹介ください。

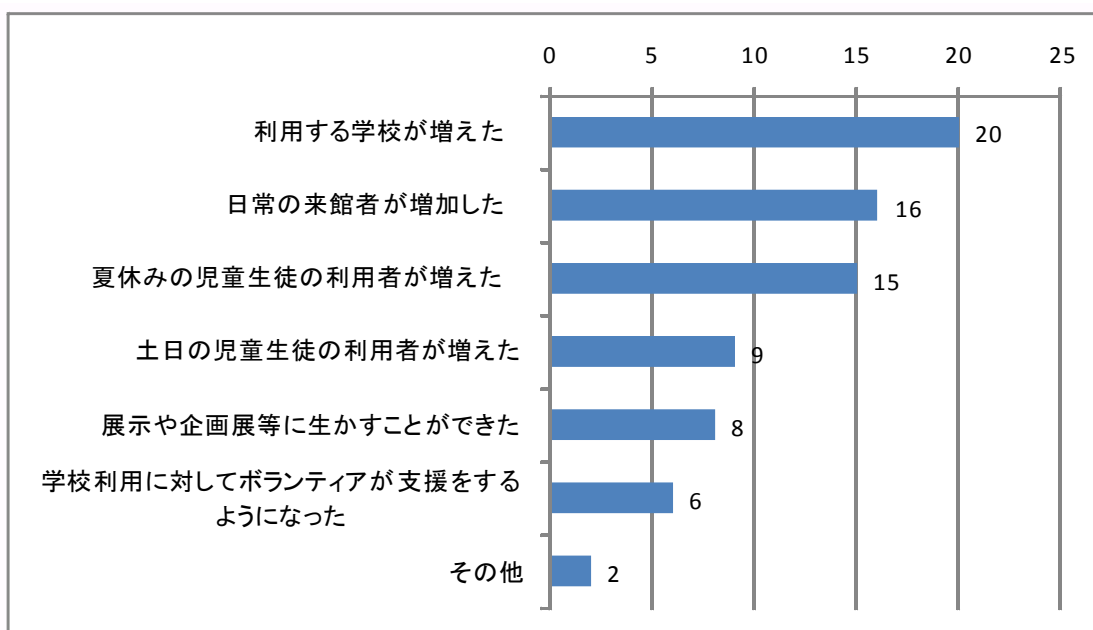
- ・ 小学校のS P P 《文部科学省が推進している、サイエンス・パートナーシッププロジェクト（科学技術・理科好きプラン）》実施における連携先となっている。
- ・ 小学校の木版画制作の授業について、希望する学校へ地元の版画家を紹介し、派遣する。
- ・ 林間学校等で日光を訪れる小学校に対して夜間開館し、絵画鑑賞教室を実施。美術鑑賞教育ネットワーク「あーとネット・とちぎ」による活動
- ・ 市内の各小中学校が社会科・生活科の学習（公共施設見学、町めぐり、地域に残る昔の道具、文化財の見学など）において当館を利用しており、その際に展示解説を行っている。また、中学校のマイチャレンジの受け入れを行っている。（図書館との併設館のため、合同で）
- ・ 当館では、平成4年度より、管内小学校全てに出前授業を実施。対象学年は、4、6年生。授業に則した展開を実施。本年度、2学期より「論語の素読」を提案し、随時進めている段階である。
- ・ 出前勾玉教室と称し、職員とボランティア計7名で約160名の親子を対象に「勾玉づくり」を実施し、好評を博した。
- ・ 小6歴史学習（市内全27校来館）※バスは博物館で予算計上。民間業者委託および市有バス利用 小4郷土学習（市内26校へ出張、近隣1校は来館） 小4天文教室（市内26校へ出張、近隣1校は来館） 小3昆虫教室（市内26校へ出張、近隣1校は来館）
- ・ 小中学校美術鑑賞ツアー、蔵の街アーツプロジェクト2009こどものためのワークショップ
- ・ 当館の代表的な所蔵品のレプリカを使って巻物を広げながらの作品鑑賞を体験する。（1回実施）また、同作品のミニチュア（親指大）の巻物をつくるキットでミニ巻物を作成、作品に親しむ。

問8 貴館を利用する学校ではどのような教科・領域に関して利用していますか。
該当する番号すべてに○をつけてください。（貴館で掌握している範囲で回答願います。）
n=42



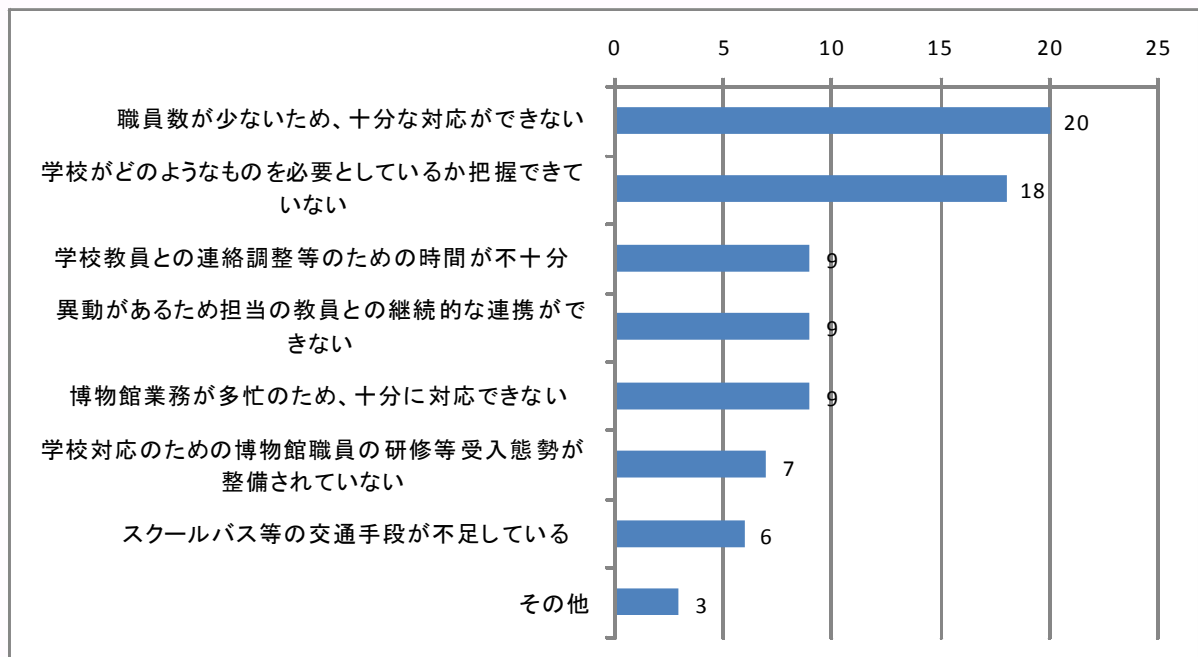
利用教科・領域は、総合的な学習の時間の利用33館（79%）が最も多く、次いで社会26館（62%）、遠足等の特別活動25館（60%）の利用となっている。体験的学習、調べ学習に対応しているものと考えられる。

問9 学校との連携における成果はどのようなことですか。該当する番号に○をつけてください。（複数回答可）
n=42



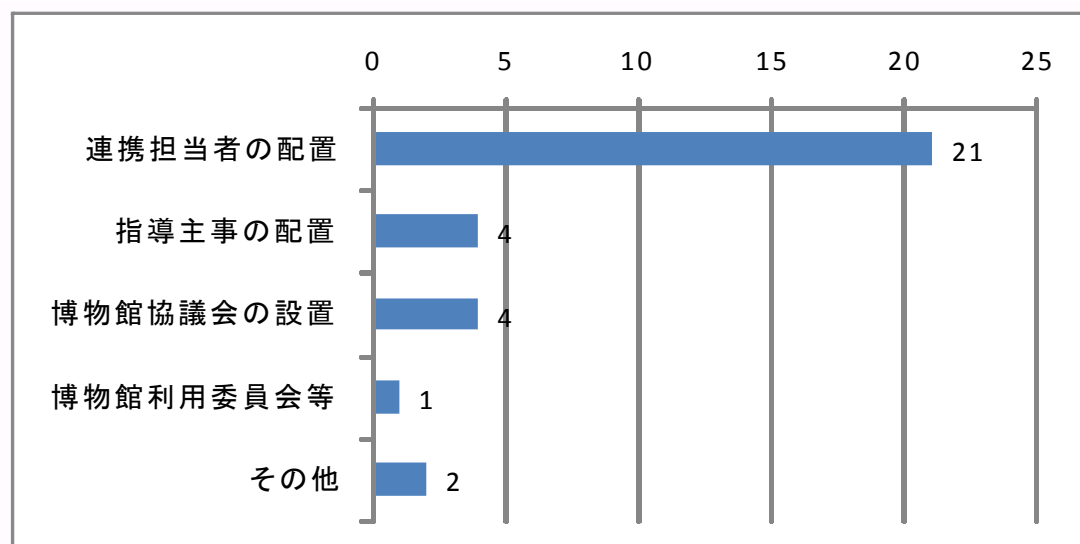
「利用する学校が増えた」が20館（48%）、「日常の来館者の増加」が16館（38%）、「夏休みの児童生徒の利用者が増えた」が15館（36%）との回答である。

問１０ 学校との連携における課題はどのようなことですか。該当する番号に○をつけてください。（複数回答可）
n=42



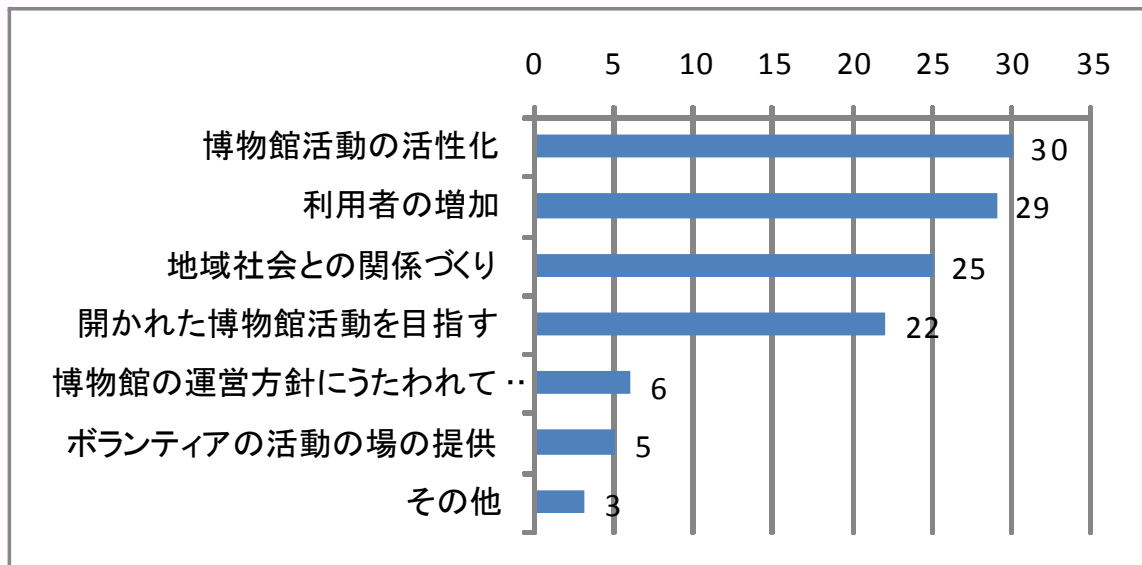
「職員数が少ないため、十分な対応ができない」20館（48%）、「学校がどのようなものを必要としているか把握できていない」が18館（43%）となっている。

問１１ 学校との連携のための組織体制についておたずねします。該当する番号に○をつけてください。
n=42



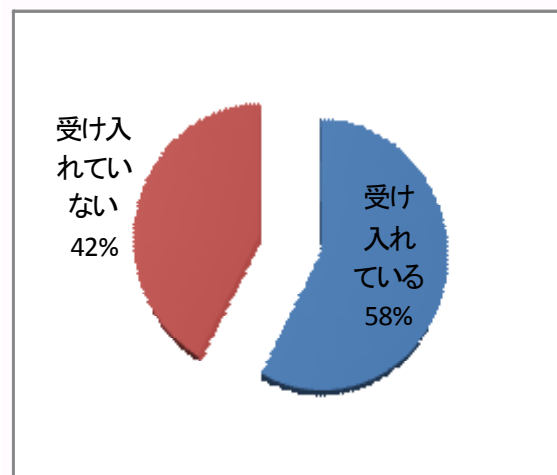
組織体制については、連携に関する担当者がある21館（50%）や学校に対して専門的スキルをもつ指導主事を配置している4館（10%）、と回答があり、連携を推進している様子がうかがえる。

問１２ これからの博物館運営の上で、学校との連携の必要性について、該当する番号に○をつけてください。（複数回答可） n = 42



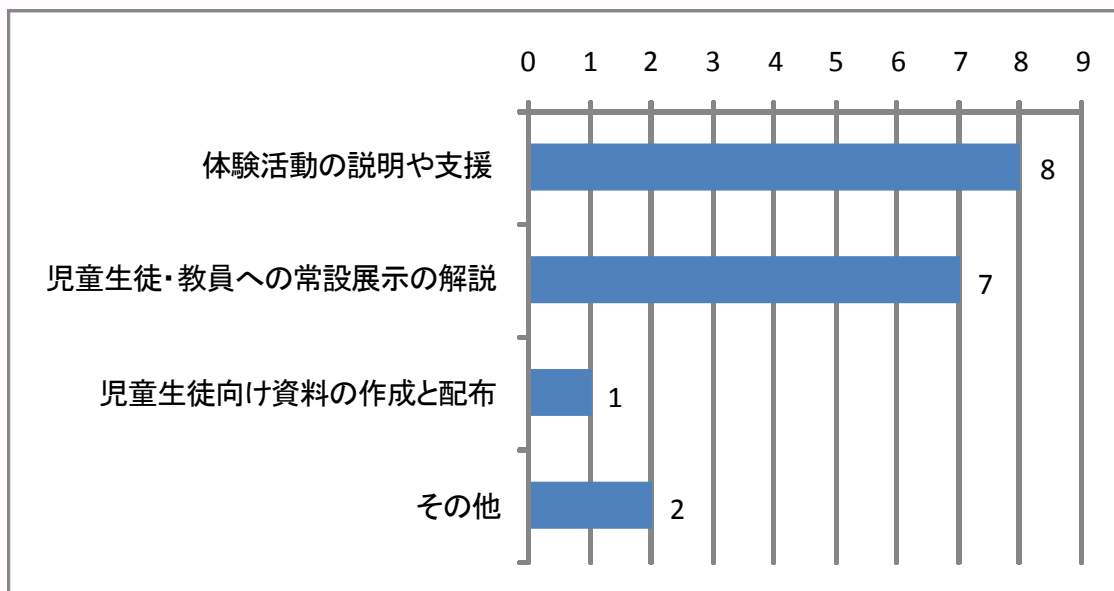
学校との連携の必要性については、「博物館活動の活性化のため」、「利用者の増加のため」、「地域社会との関係づくりのため」「開かれた博物館活動を目指すため」との回答があり、連携することによる効果があると期待していると考えられる。

問１３ 貴館では博物館活動を支援するボランティアを受け入れていますか。 n = 45



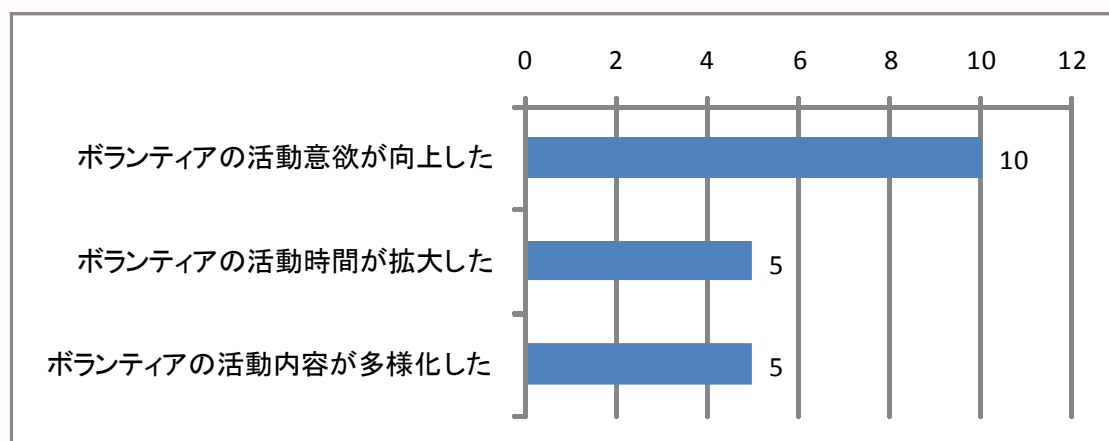
博物館活動を支援するボランティアの受け入れについては、45館中26館（約58%）がボランティアを受け入れているが、その内の半分の13館は、学校との連携事業とのかわりは関与していないとの回答であった。

問14 ボランティアの方々と、学校との連携事業とのかかわりについて、該当する番号に○をつけてください。 n=13



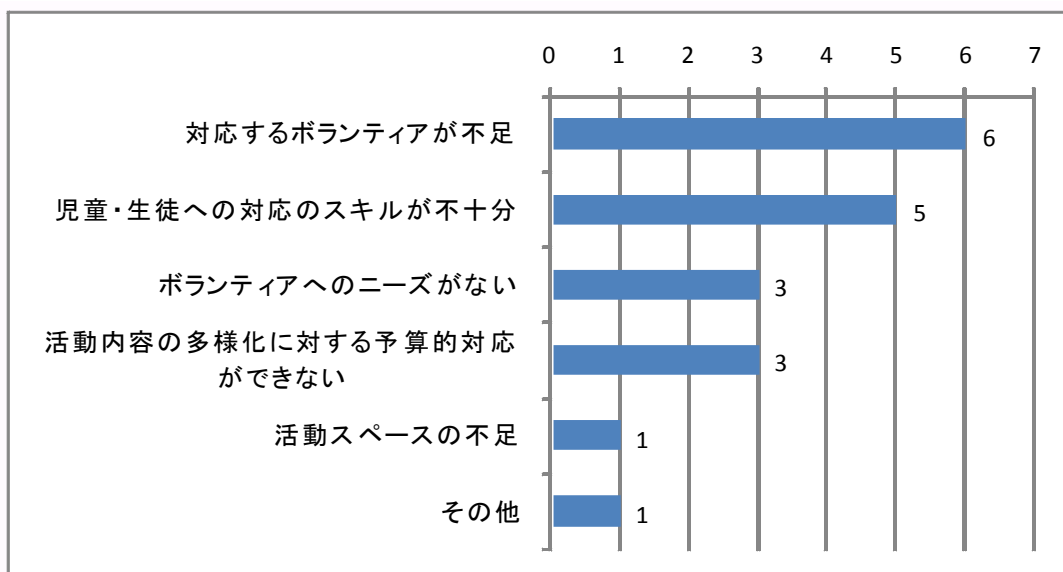
ボランティアが学校との連携事業に関与している13館のうち8館（31%）が「体験活動の説明や支援」、7館（27%）が「児童生徒・教員への常設展示の解説」を実施している。ボランティアが学校との連携に関して対応している事例は少ない。

問15 学校との連携の中で、ボランティアが対応していることの成果は、どのようなことですか。該当する番号に○をつけてください。 n=13



「ボランティアの活動意欲が向上した」が10館（77%）、「ボランティアの活動時間の拡大、活動内容が多様化」がそれぞれ5館（38%）となっている。

問１６ 学校との連携の中でボランティアが対応していることの課題は、どのようなことですか。該当する番号に○をつけてください。 n=13



対応するボランティアの人数や指導力への不安があげられている。6館（48%）